



『秘傳 千羽鶴折形』より

連鶴再考

— 魯縞庵義道と『素雲鶴』 —

6月18日 (土)

午前10時から
11時30分まで

■ 講師：桑名市博物館歴史専門官 **大塚 由良美**

■ 内容：『新撰 素雲鶴』や魯縞庵義道についての解説

■ 場所：桑名市立中央図書館4階研修室Ⅱ

■ 定員：20名 (先着順)

■ 申込方法：直接中央図書館窓口もしくは電話

■ 申込開始：6月3日 (金) より

■ 申込先：桑名市立中央図書館 (☎22-0562)



桑名叢書Ⅲ
『連鶴史料集 魯縞庵義道と桑名の千羽鶴』
(2016.3, 桑名市博物館/編集, 岩波書店)

一枚の紙から多くの連続した鶴を折る「桑名の千羽鶴」は、長円寺第11世住職魯縞庵義道(1762～1834)が考案し、現代まで伝承されている桑名を代表する伝統文化です(桑名市無形文化財)。その折り方の原典となった書『素雲鶴』の一部や『新撰 素雲鶴』が、一昨年、長円寺(伝馬町)にて発見されました。

桑名市博物館では、発見された史料と、考案者魯縞庵義道に関する史料を取りまとめた『桑名叢書Ⅲ 連鶴史料集 魯縞庵義道と桑名の千羽鶴』を、このたび刊行しました。

本講座は、桑名市立図書館や桑名市博物館所蔵資料を題材とした書籍のシリーズ「桑名叢書」の刊行を記念して開催し、「桑名の千羽鶴」の原典で幻の書といわれてきた「素雲鶴」や義道について、桑名市博物館の歴史専門官が解説します。

「桑名の千羽鶴」の歴史を新たな視点で学んでみませんか。

※千羽鶴の折り方講座ではありません。

釣舟